
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO **iDWR**

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2009年第51週
(12月14日～12月20日)

* 2009年12月24日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>

平成21(2009)年12月25日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)

FAX：03-5332-7365

e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2009年51週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		48週	49週	50週	51週	年累計	51週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	53	66	68	44	3954	297	25361
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ (H5N1)							
三類	コレラ					3		16
	細菌性赤痢	1	2			46	2	177
	腸管出血性大腸菌感染症	3	3	3	3	310	18	3780
	腸チフス			1		11		28
	パラチフス		1			12	1	26
四類	E型肝炎					6		54
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎					22	2	111
	エキノコックス症					1		23
	黄熱							
	オウム病					1		20
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱					1		2
	狂犬病							
	コクシジオイデス症					1		2
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病		3	4	1	12	13	409
	デング熱	1				32	1	89
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱							122
	日本脳炎							3
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症					1		2
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
	マラリア		1			26		54
	野兔病							
	ライム病					1		7
	リッサウイルス感染症							
リフトバレー熱								
類鼻疽								
レジオネラ症	1	2		2	53	9	669	
レプトスピラ症						1	14	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		48週	49週	50週	51週	年累計	51週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	2	3	2	7	139	8	738
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)		1		2	35	1	205
	急性脳炎 *2	2		3		44	10	468
	クリプトスポリジウム症	1				4	1	17
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1		1	19	2	138
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症				1	10	1	99
	後天性免疫不全症候群	6	10	12	6	462	11	1343
	ジアルジア症			1	1	24		72
	髄膜炎菌性髄膜炎					1		10
	先天性風しん症候群							1
	梅毒	1	6	7	2	191	6	651
	破傷風					7	2	110
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					13		111
	風しん			1		19	2	146
麻しん			1		111	4	733	
新型※	新型インフルエンザ ※2 ※3	—	—	—	—	1187	—	5038
2009/12/24計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

※新型インフルエンザ等感染症 ※2 2009年4月28日に指定された。2009年4月28日から7月23日の期間は全数届出。

2009年7月24日から8月24日の期間は集団発生事例に関連した届出。

※3全国集計は7月24日6:00現在の国内発生の累計値(検査対象者を含まない。)

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 44件 肺結核27件、その他の結核16件、肺結核及びその他の結核1件で、推定感染地は全て国内、年齢は5歳未満1件、20歳代2件、30歳代6件、40歳代6件、50歳代7件、60歳代7件、70歳代7件、80歳代8件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 3件 全て患者で、血清型・毒素型はO157(VT1VT2)1件、O157(VT2)1件、O157(毒素型不明)1件であった。年齢は10歳代1件、20歳代2件で、20歳代1件(O157毒素型不明)はHUSの発症があった。

〈四類感染症〉

つつが虫病 1件 推定感染地は栃木県であった。

レジオネラ症 2件 どちらも肺炎型で、年齢は70歳代1件、80歳代1件。推定感染地は国内で、推定感染経路は水系感染(浴室)1件、その他(不明)1件である。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 7件 腸管アメーバ症1件、腸管外アメーバ症3件、腸管及び腸管外アメーバ症3件で、推定感染地は国内6件、タイ1件、推定感染経路は性的接触3件(同性間1件、両性間1件、不明1件)、その他(不明)4件であった。

ウイルス性肝炎 2件 B型1件、サイトメガロウイルス1件で、推定感染地は国内1件、国内及び国外1件、感染経路は性的接触(異性間)1件、その他(不明)1件であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 古典型CJDで、年齢は70歳代であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 血液、壊死軟部組織から菌が分離・同定され、感染経路はその他(不明)である。

後天性免疫不全症候群 6件 無症候キャリア4件、AIDS1件、その他1件。年齢は無症候キャリアおよびその他の年齢は10歳代1件、20歳代3件、30歳代1件で、AIDS患者の年齢は80歳代1件であった。推定感染地は国内5件、不明1件、推定感染経路は性的接触4件(同性間3件、異性間1件)、性的接触(同性間)及び静注薬物使用1件、不明1件であった。

ジアルジア症 1件 推定感染地はタイで、感染経路はその他(不明)であった。

梅毒 2件 早期顕症梅毒Ⅱ期1件、無症候1件で、どちらも推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触(同性間)であった。

※第50週該当分として、五類 急性脳炎 1件(病原体不明、20歳代)、五類 後天性免疫不全症候群 1件(その他、30歳代)、五類 風しん 1件(検査診断例、30歳代、ワクチン接種歴不明)の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2009年51週

定点種別	対象疾患	2009年					報告医療機関数	定点医療機関数
		48週	49週	50週	51週 (定点当たり)			
小児科	RSウイルス感染症	20	19	47	75	0.50	150	150
	咽頭結膜熱	12	9	12	20	0.13		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	105	156	187	168	1.12		
	感染性胃腸炎	514	733	934	1,435	9.57		
	水痘	143	186	174	225	1.50		
	手足口病	37	55	50	35	0.23		
	伝染性紅斑	14	18	17	18	0.12		
	突発性発しん	55	90	75	69	0.46		
	百日咳	1	4	6	2	0.01		
	ヘルパンギーナ	19	22	10	11	0.07		
	流行性耳下腺炎	96	100	97	131	0.87		
	不明発しん症 (注1)	7	11	8	7	0.05		
MCLS(川崎病) (注1)	1	2	0	1	0.01			
インフルエンザ	インフルエンザ (注2)	6,065	4,731	3,987	3,555	12.26	290	290
眼科	急性出血性結膜炎	1	1	0	1	0.03	39	39
	流行性角結膜炎	6	18	10	12	0.31		
基幹	細菌性髄膜炎 (注3)	1	2	2	1	0.04	24	24
	無菌性髄膜炎	0	0	1	0	0.00		
	マイコプラズマ肺炎	2	6	6	4	0.17		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	2	0	0	0	0.00		

2009/12/24集計

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病)は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザ感染症を除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

風しん、麻しん、成人麻しんは2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・RSウイルス感染症の定点当たり報告数は2週連続して増加した。昨年同時期と比較して多い。
- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は46週以降増加している。過去5年平均の同時期と比較して少ないが、例年流行する時期であり、今後の動向に注意が必要である。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は45週以降減少している。しかし依然として警報が出ている状況であり、注意が必要である。

(定点医療機関からのコメント)

千代田保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎:増加傾向にあるがロタウイルス感染はない。

北区保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎:増加してきました。

板橋区保健所管内定点医療機関

- ・流行性耳下腺炎:家族内発症です。

* インフルエンザに関するコメントは13～14頁にまとめて記載しました。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2009年51週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	9	1		10	5			1		1
～11か月	16	2		71	8	3		15		2
1歳	31	6	5	215	30	6	1	44		5
2歳	9	2	6	145	35	6	1	8		
3歳	4	2	10	116	43	9	2			1
4歳	4	2	12	108	32	6	1	1		1
5歳		2	24	109	36	3	2			
6歳		2	20	96	21					
7歳		1	27	94	3	2	4			
8歳	2		21	64	4		3			
9歳			9	57	5					
10～14歳			21	121	2		1			
15～19歳			2	21			1			
20～29歳			11	208	1		2		2	1
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	75	20	168	1435	225	35	18	69	2	11
先週比	28	8	-19	501	51	-15	1	-6	-4	1

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月		1	1	9		
～11か月	1	1		40		
1歳	6	1		111		
2歳	7	1		115		
3歳	15			147		
4歳	25	2		241		1
5歳	21	1		222		1
6歳	24			245		
7歳	9			227		
8歳	7			195		
9歳	3			264		
10～14歳	6			624		1
15～19歳	1			270		
20～29歳	6			330		2
30～39歳				284		2
40～49歳				152		3
50～59歳				62	1	
60～69歳				13		1
70～79歳				4		1
80歳以上						
合計	131	7	1	3555	1	12
先週比	34	-1	1	-432	1	2

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2009年51週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		
15～19歳		
20～29歳		
30～39歳		
40～49歳		
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	0	0

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2009年51週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田				10				1		
中央区				15	1			1		
みなと	6	4	4	36	6	8		3		
新宿区	3			62	9	1		3		
文京	3		2	30	4		2			
台東	1	2	3	34	2			2		1
墨田区	2	1	2	14	2	1		3		
江東区	2		11	69	3		1	4	1	1
品川区	3		6	78	3		1	1		
目黒区				10	2					
大田区	2	5	8	118	12	4	2	5		2
世田谷	1		10	101	11	2		2		1
渋谷区			2	23	7	1		1		
中野区			6	43	4			2		
杉並			3	70	2			2		
池袋			1	21		1	2	1		
北区	1	2		25	3	4		3		1
荒川区	1	1	10	29	1			2		
板橋区	1		3	42	1		1			
練馬区			7	35	10	2		3	1	1
足立		2	1	63	2					
葛飾区			2	45	17	2	5	7		
江戸川	2		6	77	13	4		2		1
八王子市	10	1	24	99	20	2	2	6		
西多摩	1		3	26	4					
南多摩	11		2	45	10			2		1
町田	2		24	81	53	1	1	3		2
多摩立川				29	5	1	1			
多摩府中		1	11	49	2			5		
多摩小平	23	1	17	56	16	1		5		
島しょ										
東京都合計	75	20	168	1,435	225	35	18	69	2	11

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】 2009年51週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				33		
中央区				12		1
みなと	8		1	84		
新宿区	1			67		1
文京				64		1
台東		1		19		
墨田区				46		1
江東区	7			111		
品川区	3	1		89		1
目黒区				23		
大田区	2			249		
世田谷	5			217		
渋谷区	1			50		
中野区	1	2		57		
杉並				120		2
池袋				49		
北区	1			77		
荒川区				23		
板橋区	5			71		
練馬区	7			138		
足立	2			114	1	2
葛飾区	6			155		
江戸川	9			222		
八王子市	10			166		
西多摩	13			139		
南多摩	2			172		
町田	24	3		263		
多摩立川	5			107		1
多摩府中	11			322		
多摩小平	8			257		2
島しょ				39		

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		
文京		
台東		
墨田区		
江東区		
品川区		
目黒区		
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		
葛飾区		
江戸川		
八王子市		
西多摩		
南多摩		
町田		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計	131	7	1	3,555	1	12
-------	-----	---	---	-------	---	----

東京都合計	0	0
-------	---	---

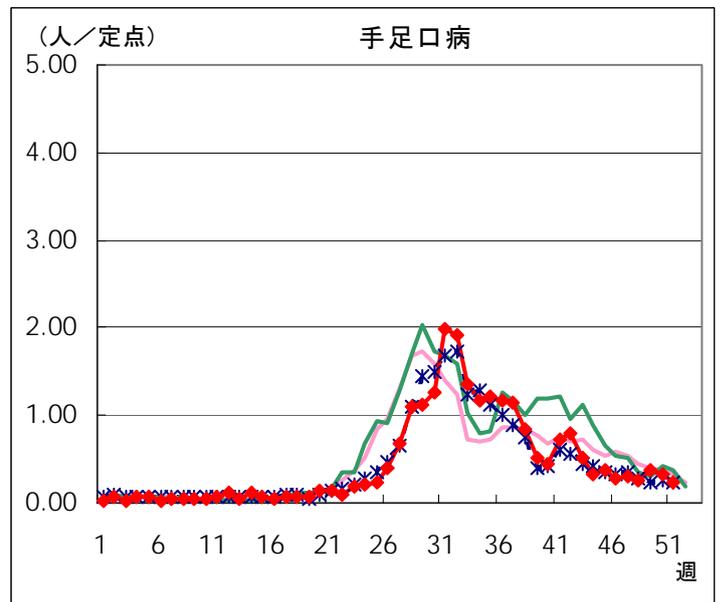
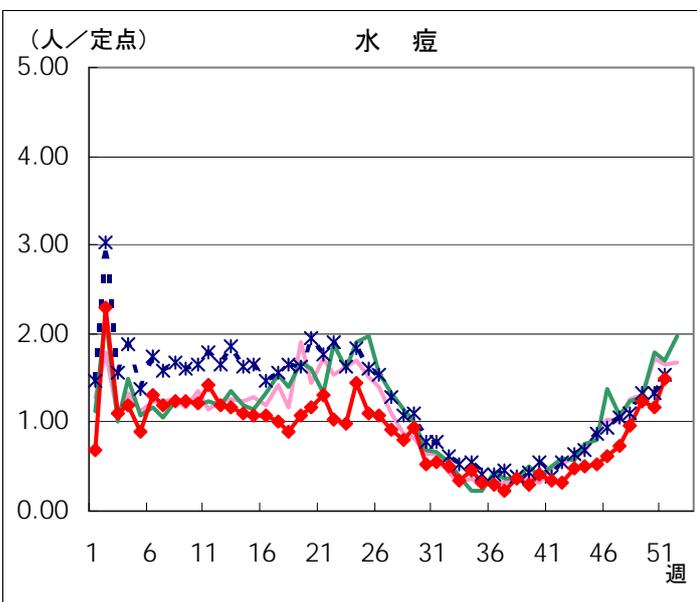
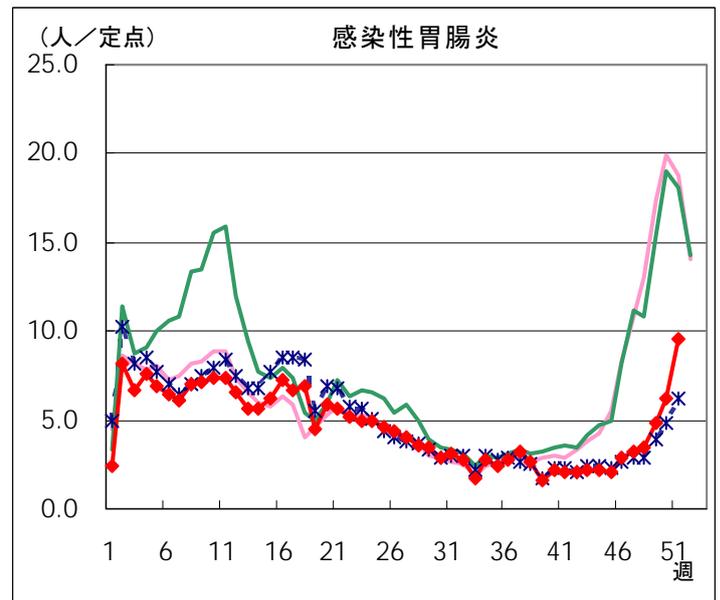
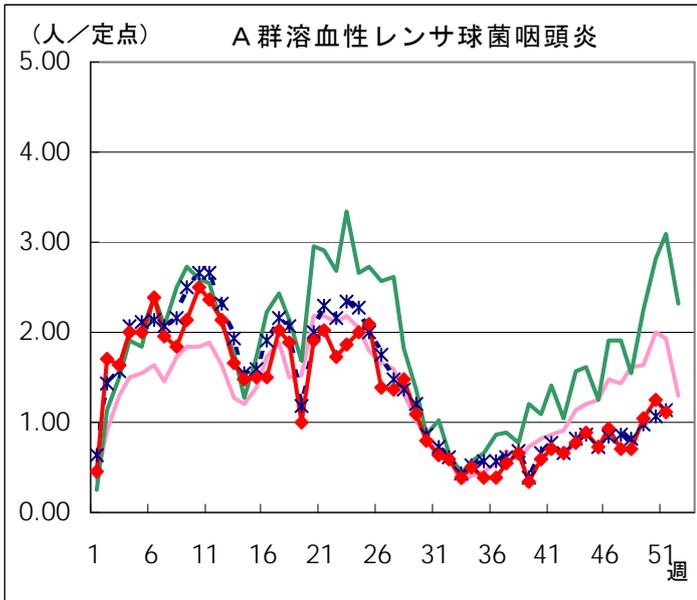
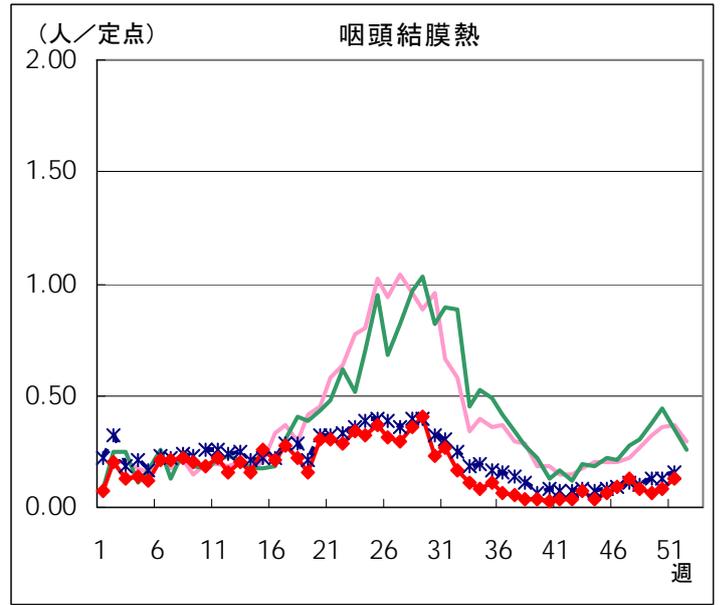
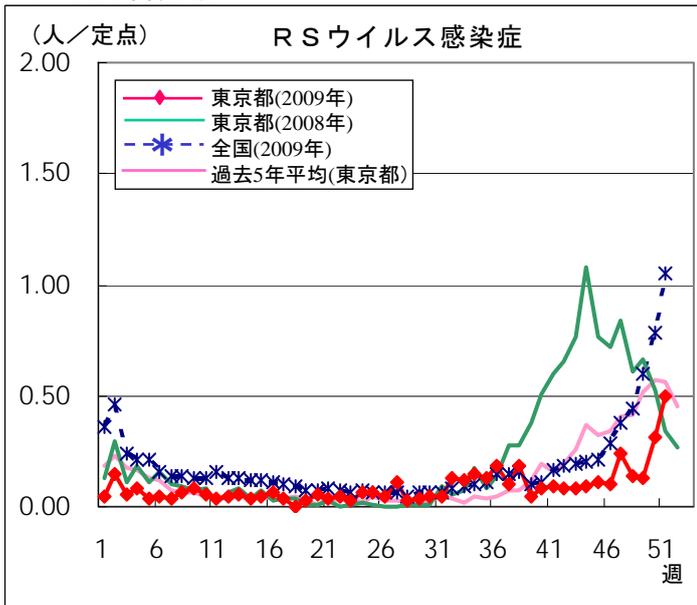
定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2009年51週

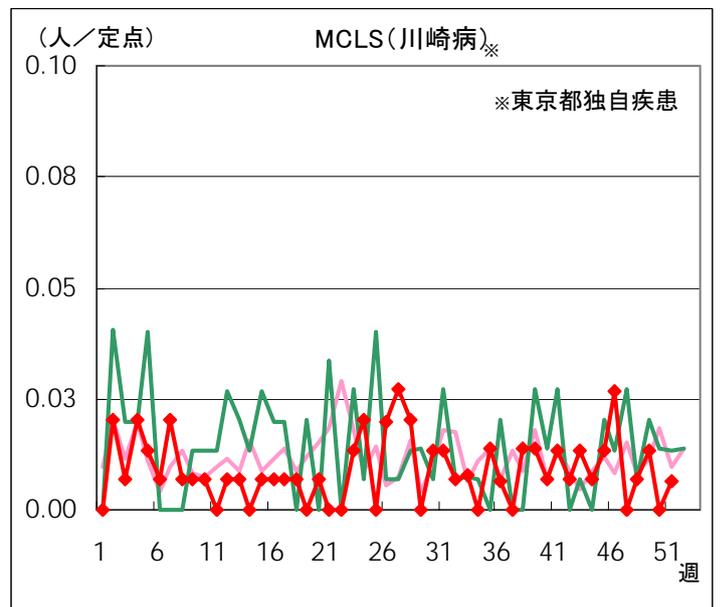
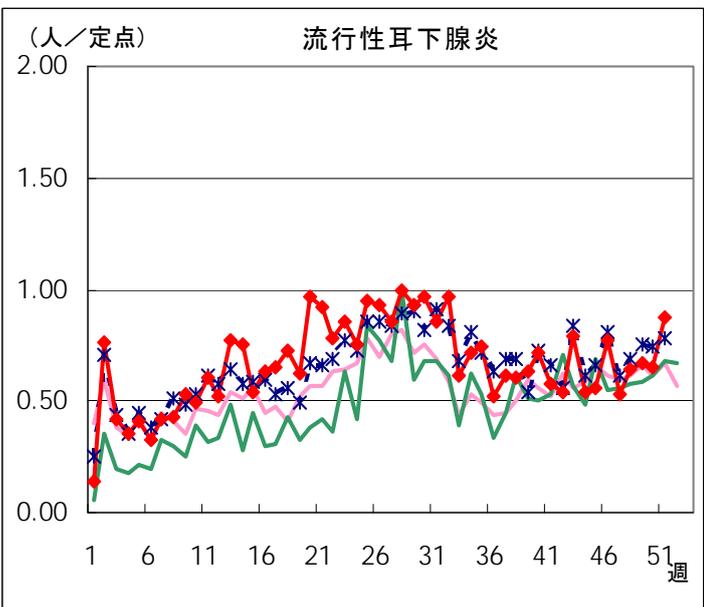
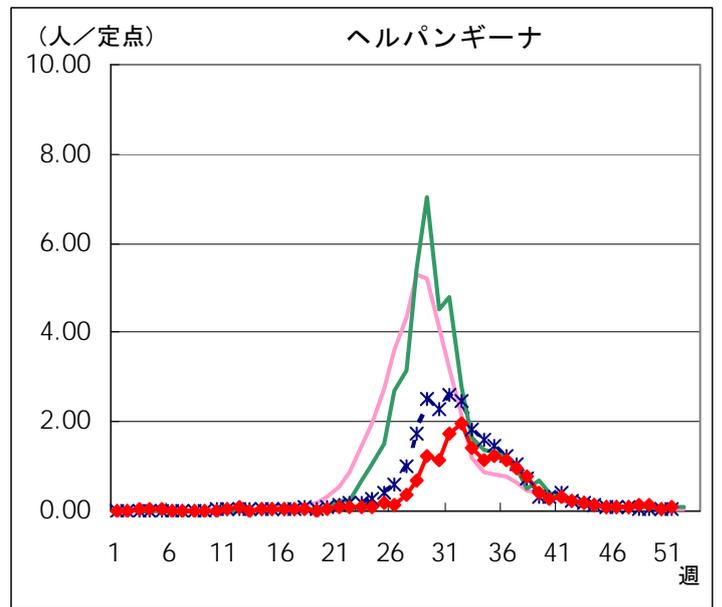
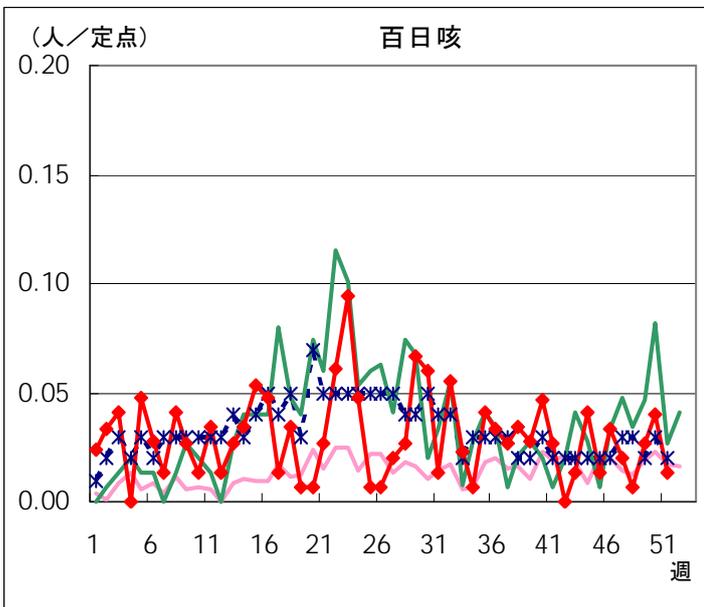
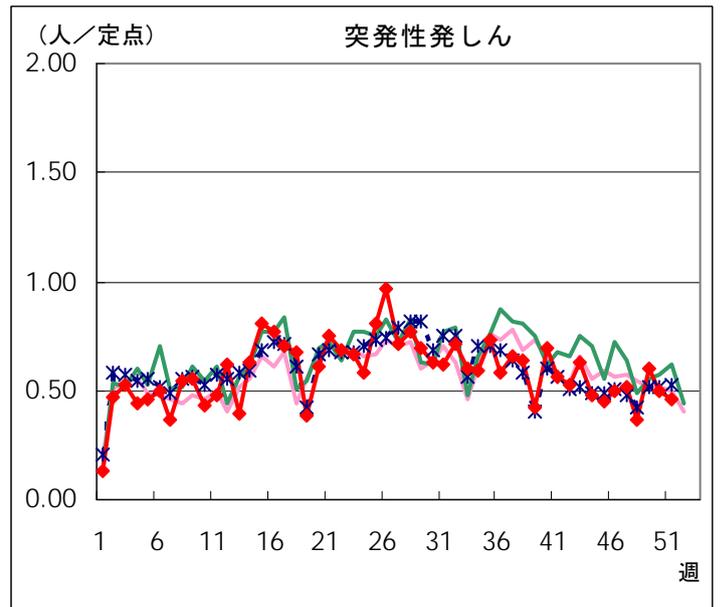
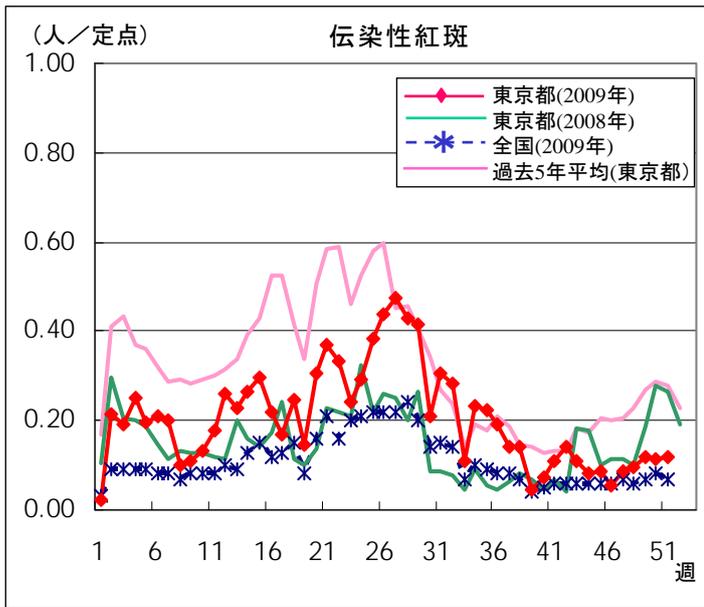
定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田				2.50				0.25		
中央区				5.00	0.33			0.33		
みなと	1.00	0.67	0.67	6.00	1.00	1.33		0.50		
新宿区	0.50			10.33	1.50	0.17		0.50		
文京	1.00		0.67	10.00	1.33		0.67			
台東	0.33	0.67	1.00	11.33	0.67			0.67		0.33
墨田区	0.67	0.33	0.67	4.67	0.67	0.33		1.00		
江東区	0.50		2.75	17.25	0.75		0.25	1.00	0.25	0.25
品川区	0.50		1.00	13.00	0.50		0.17	0.17		
目黒区				3.33	0.67					
大田区	0.22	0.56	0.89	13.11	1.33	0.44	0.22	0.56		0.22
世田谷	0.13		1.25	12.63	1.38	0.25		0.25		0.13
渋谷区			0.50	5.75	1.75	0.25		0.25		
中野区			1.00	7.17	0.67			0.33		
杉並			0.50	11.67	0.33			0.33		
池袋			0.20	4.20		0.20	0.40	0.20		
北区	0.25	0.50		6.25	0.75	1.00		0.75		0.25
荒川区	0.50	0.50	5.00	14.50	0.50			1.00		
板橋区	0.17		0.50	7.00	0.17		0.17			
練馬区			1.40	7.00	2.00	0.40		0.60	0.20	0.20
足立		0.40	0.20	12.60	0.40					
葛飾区			0.50	11.25	4.25	0.50	1.25	1.75		
江戸川	0.40		1.20	15.40	2.60	0.80		0.40		0.20
八王子市	2.50	0.25	6.00	24.75	5.00	0.50	0.50	1.50		
西多摩	0.20		0.60	5.20	0.80					
南多摩	2.75		0.50	11.25	2.50			0.50		0.25
町田	0.50		6.00	20.25	13.25	0.25	0.25	0.75		0.50
多摩立川				4.83	0.83	0.17	0.17			
多摩府中		0.10	1.10	4.90	0.20			0.50		
多摩小平	3.83	0.17	2.83	9.33	2.67	0.17		0.83		
島しょ										
東京都	0.50	0.13	1.12	9.57	1.50	0.23	0.12	0.46	0.01	0.07

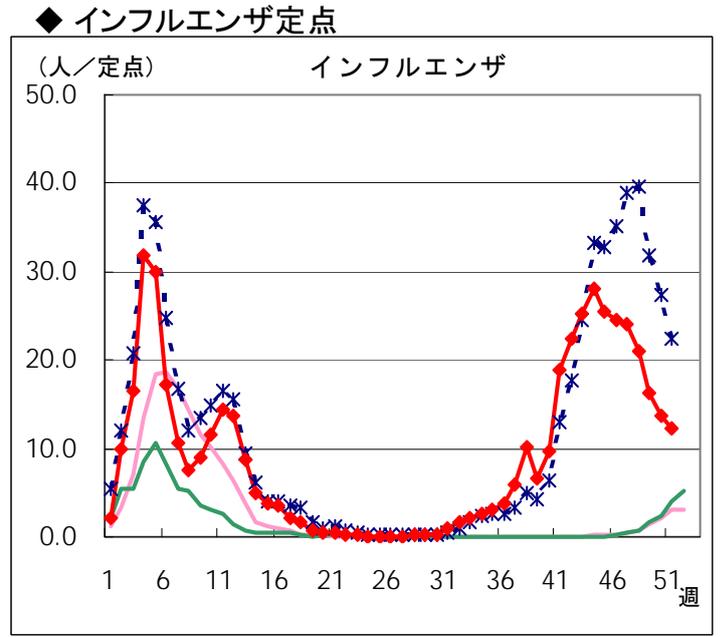
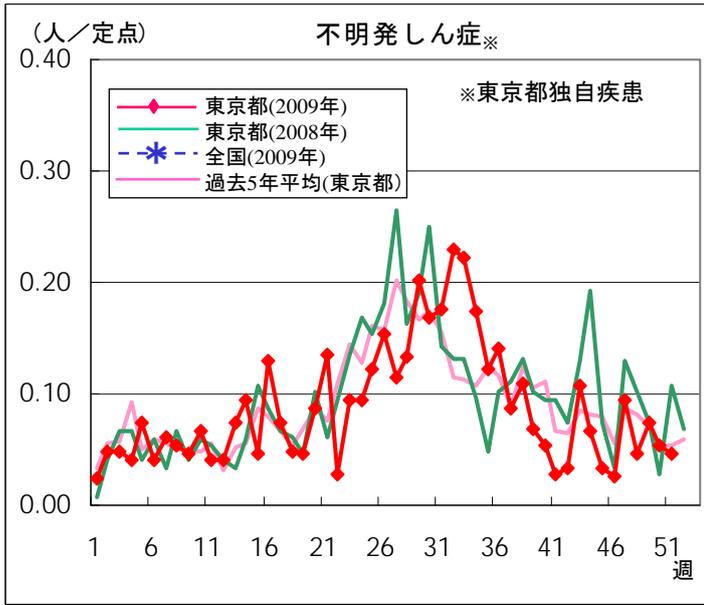
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田				6.60		
中央区				3.00		1.00
みなと	1.33		0.17	10.50		
新宿区	0.17			7.44		0.50
文京				12.80		1.00
台東		0.33		3.80		
墨田区				7.67		1.00
江東区	1.75			12.33		
品川区	0.50	0.17		8.90		1.00
目黒区				3.83		
大田区	0.22			15.56		
世田谷	0.63			13.56		
渋谷区	0.25			8.33		
中野区	0.17	0.33		6.33		
杉並				10.00		2.00
池袋				6.13		
北区	0.25			9.63		
荒川区				5.75		
板橋区	0.83			5.92		
練馬区	1.40			11.50		
足立	0.40			9.50	0.50	1.00
葛飾区	1.50			17.22		
江戸川	1.80			18.50		
八王子市	2.50			16.60		
西多摩	2.60			15.44		
南多摩	0.50			19.11		
町田	6.00	0.75		29.22		
多摩立川	0.83			8.23		0.50
多摩府中	1.10			15.33		
多摩小平	1.33			18.36		1.00
島しょ				19.50		
東京都	0.87	0.05	0.01	12.26	0.03	0.31

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2009年51週現在

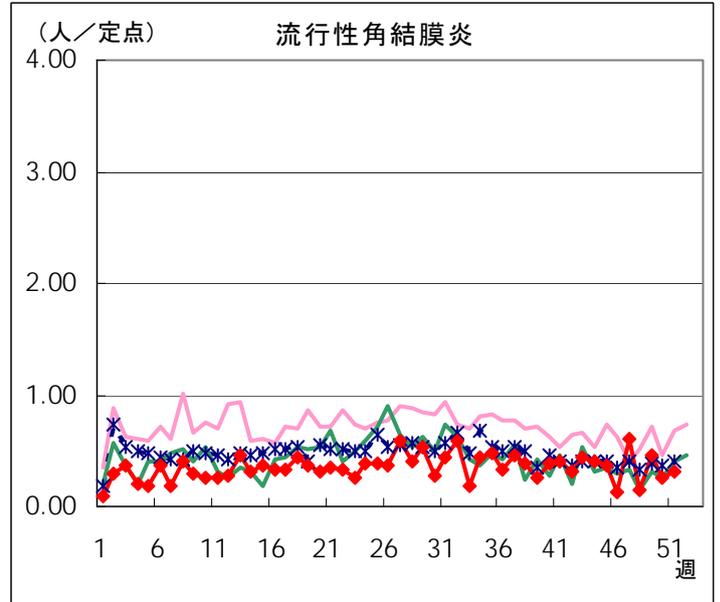
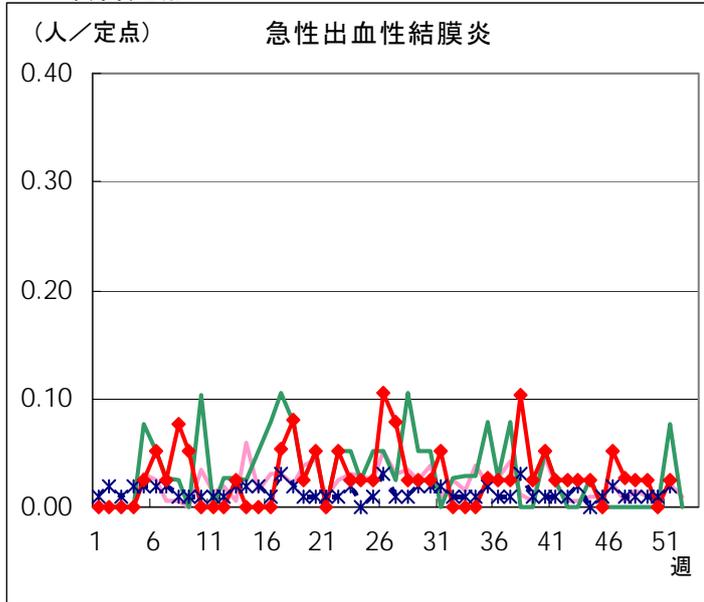
◆ 小児科定点



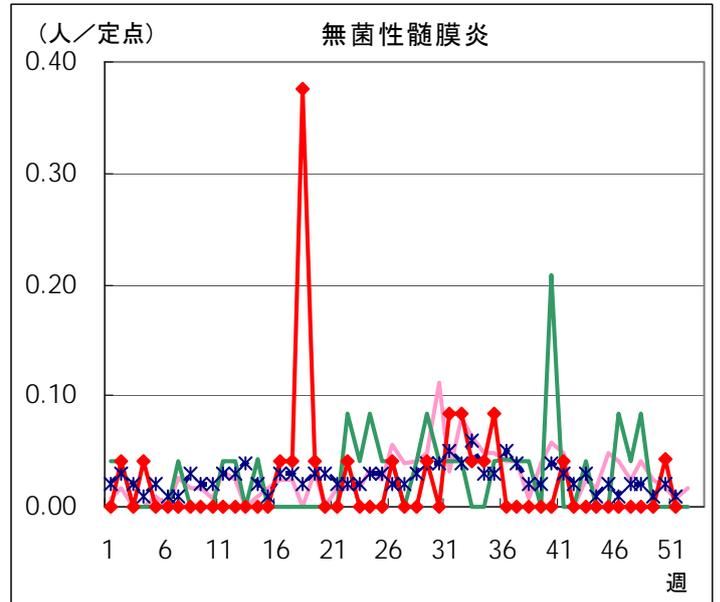
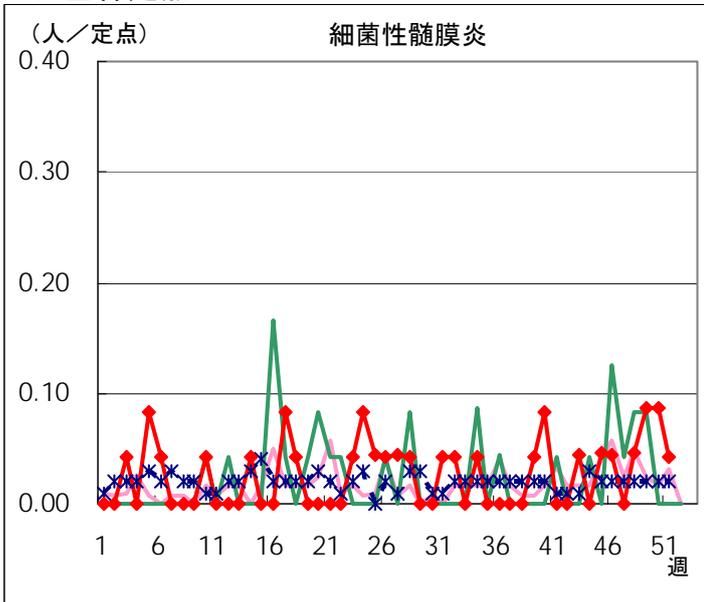


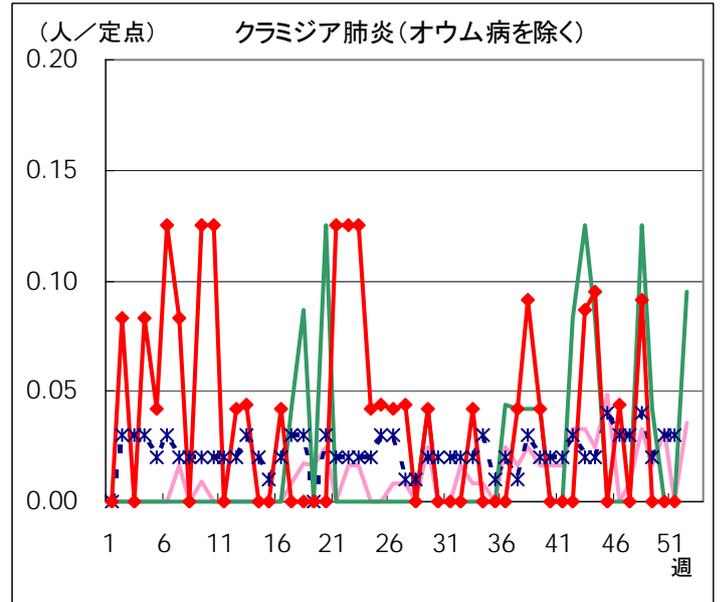
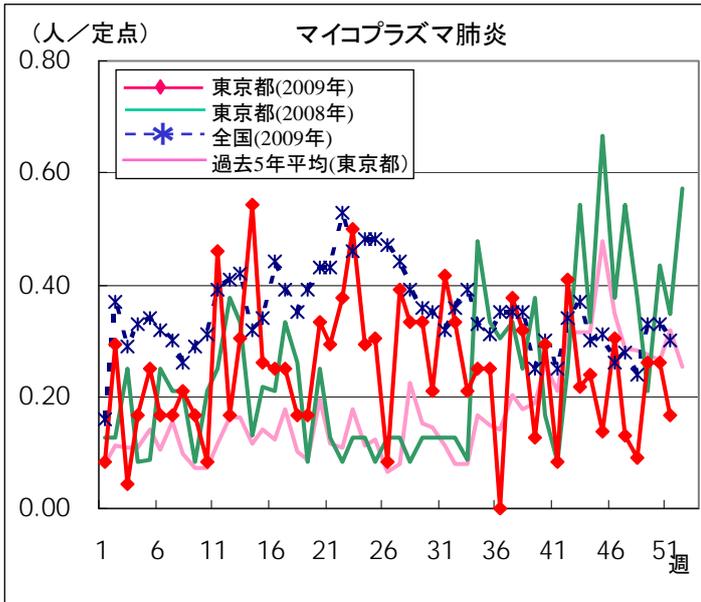


◆ 眼科定点

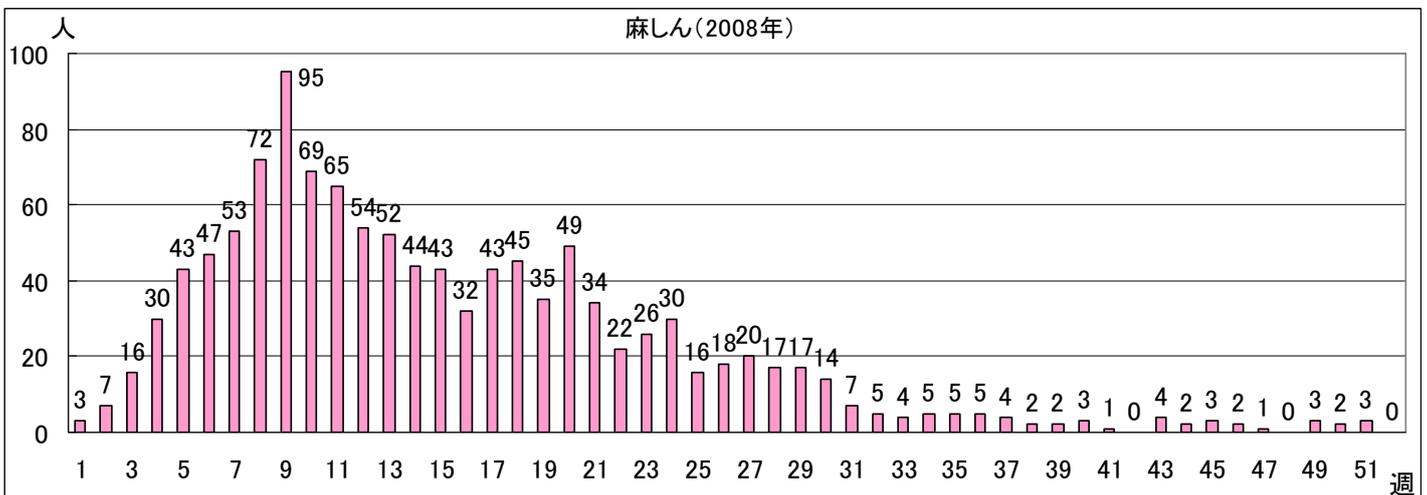
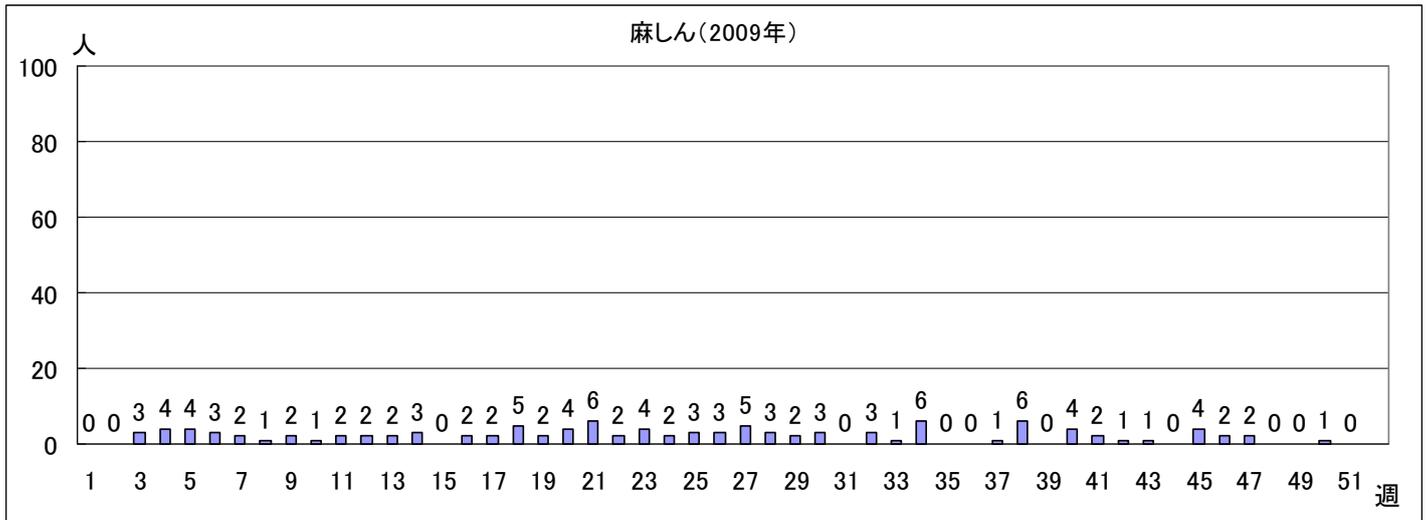


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2009年51週現在



定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント

各定点医療機関から、迅速診断キットを用いた検査の結果等に関わるコメントをいただきましたので、コメントのあった医療機関ごとに下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
みなと	14		
	15		
新宿区	30	1	B型:20歳代。
	5		
江東区	25		
品川区	4		患者6名
	18		
	4		
目黒区	4		
	10		
	3		
			患者4名。数は減ってきたが、成人に発病。
大田区	19	1	B型:1歳児。
	2		
	7		
	6		
	8		
	9		
中野区	6		
	24		
	6		
	3		
	4		患者5名。
	8		
	5		
池袋	24		
	2		

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果		定点医療機関からのコメント
	A	B	
北区	31		
	13	1	B型40歳代
	5		
			患者10名。数は少なくなりましたが、まだ完全収束とはなっていないようです。
	6		
西多摩	3		患者4名。
	42		
	4		患者7名。
町田	21		A型およびB型陽性1名。
多摩立川	6		患者は60歳代で基礎疾患有り。
	5		A型およびB型陽性1名。
	6		
多摩府中			休日外来の発熱患者13名。
八王子市	15		
	37		
	5		
	2		
	37		
	52		

病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
11/14	急性咽頭炎	9	菌株(咽頭由来)	<i>S.pyogenes</i> (T-12型)	血清型
12/1	急性気管支炎	記載無し	咽頭拭い液	エンテロウイルス 新型インフルエンザウイルス	遺伝子
12/2	咽頭結膜熱	2	咽頭拭い液	アデノウイルス 新型インフルエンザウイルス	
12/4	急性気管支肺炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス、ライノウイルス RSウイルス	
12/4	急性気管支炎	2	咽頭拭い液	RSウイルス	
12/4	咽頭扁桃炎	2	咽頭拭い液	ライノウイルス ヒトヘルペスウイルス7型 EBウイルス	
12/5	インフルエンザ	15	鼻汁	ライノウイルス 新型インフルエンザウイルス	
12/5	インフルエンザ	14	鼻汁	ライノウイルス 新型インフルエンザウイルス	
12/5	急性気管支炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	
12/7	急性咽頭炎	3	咽頭拭い液	アデノウイルス、ライノウイルス 新型インフルエンザウイルス	
12/7	急性気管支炎	1	咽頭拭い液	ライノウイルス	
12/7	急性気管支炎	2	咽頭拭い液	RSウイルス	
12/9	脊髄炎疑い	61	咽頭拭い液	EBウイルス	
12/9	ウイルス性髄膜炎	29	咽頭拭い液	単純ヘルペスウイルス	
12/9	急性扁桃炎	3	咽頭拭い液	ライノウイルス	
12/10	横断性脊髄炎	59	咽頭拭い液	EBウイルス	
12/10	インフルエンザ	2	鼻汁	アデノウイルス、ライノウイルス	
12/10	急性気管支炎	5	咽頭拭い液	アデノウイルス、ライノウイルス RSウイルス	
12/10	急性気管支炎	2	咽頭拭い液	アデノウイルス、ライノウイルス RSウイルス	
12/10	不明発しん症	2	咽頭拭い液	ライノウイルス、RSウイルス	
12/10	急性胃腸炎	1	糞便	ノロウイルス	
12/11	インフルエンザ	5	咽頭拭い液	アデノウイルス、エンテロウイルス	

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
12/11	急性気管支炎	1	咽頭拭い液	ライノウイルス	遺伝子
12/11	突発性発しん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
記載無し	急性気管支炎	4	咽頭拭い液	ライノウイルス	
記載無し	インフルエンザ	11	鼻汁	ライノウイルス 新型インフルエンザウイルス	

◇定点医療機関から搬入された検体の遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型

亜型検出件数	インフルエンザウイルス			
	AH1型	AH3型	B型	AH1pdm(新型)*
50週	0	0	0	33
今シーズン累計**	1	0	0	497

*：新型インフルエンザウイルス(ブタ由来インフルエンザウイルスA/HINI)。

**：新シーズン(2009-2010シーズン)の開始は第36週(8月31日～9月6日)。

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2009年							
		43週	44週	45週	46週	47週	48週	49週	50週
ウイルス	アデノウイルス	4	3	1	3	5	2	5	7
	ライノウイルス	11	5	3	6	9	5	8	14
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	2	1	1	4	5		1	2
	単純ヘルペスウイルス			2	1				
	水痘・帯状疱疹ウイルス								1
	ヘルペスウイルス6/7	5	2	2	4	5	2	4	2
	EBウイルス		2	1		1		2	3
	サイトメガロウイルス	1	1			1			
	ムンプスウイルス		1	1	1	1	1	1	
	麻疹ウイルス								
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19								
	RSウイルス	2			4	4	3	4	7
	ノロウイルス		1	1					1
	ロタウイルス								
	インフルエンザウイルスAH1								
	インフルエンザウイルスAH3								
	インフルエンザウイルスB								
新型インフルエンザウイルスAH1pdm	32	41	17	37	23	29	50	33	
デングウイルス(抗体を含む)									
その他のウイルス									
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌	7						2	1
	その他の細菌								
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2009年43週～2009年50週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数	314	28	79	22	35	1		2		3	2	9	11				138	
ウイルス	アデノウイルス	13	5	9		1						1	1					
	ライノウイルス	20	3	25	2	1					1	4	1				4	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス	2	1	3	1	3				2			1				3	
	単純ヘルペスウイルス																	3
	水痘・帯状疱疹ウイルス					1												
	ヘルペスウイルス6/7	1	1			1						8	1					14
	EBウイルス		1										2					6
	サイトメガロウイルス					1							1	1				
	ムンプスウイルス					2								4				
	麻疹ウイルス																	
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19																	
	RSウイルス			23										1				
	ノロウイルス				3													
	ロタウイルス																	
インフルエンザウイルスAH1																		
インフルエンザウイルスAH3																		
インフルエンザウイルスB																		
新型インフルエンザウイルスAH1pdm	241	4	13			1											3	
デングウイルス(抗体を含む)																		
その他のウイルス																		
細菌	カンピロバクター																	
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌		8	2														
その他の細菌																		
その他の病原体																		